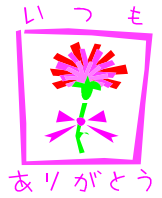


被災地と、みんなを結ぶ

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

「東日本大震災から5年」 被災地の「いま」を伝えるプロジェクト 復興支援視察団 in 宮城&福島 開催

東日本大震災から5年が経過し、当時ボランティアに携わった人たちとの交流、被災地への再訪などを行うことで、改めて震災と向き合うことをねらいとした「復興支援視察団」が宮城と福島で実施されました。震災から5年、被災3県の地方連合会からは、「ボランティアに携わった方々に、改めて感謝の意を表したい」「今一度、被災地に足を運んでもらい、復興状況を確認してもらいたい」など、救援ボランティアとの交流を望む声が多く寄せられていました。また、構成組織や地方連合会においても、復興支援活動を継続的に行っている中で、被災地を再訪し、復興状況を視察したいとの声もあがっていたことからこの視察団が実現しました。なお、岩手については、台風10号の被害の影響により延期となっています。

～宮城の様子～



構成組織、地方連合会、事務局計29名が参加しました（写真はわたりグリーンプロジェクト関係者と）。



仙台市の岡田地区にて。災害時に備え、食料等も常備した「津波避難タワー」が各所に建設されています。



学習会では大黒雅弘・連合宮城事務局長より「復興状況と被災地の現状について」の報告が行われました。



津波の被害が大きかった女川町の沿岸では、現在、復興に向けて大規模な工事が実施されています。

～福島の様子～



立谷秀清・相馬市長（前列右から5番目）と記念撮影。構成組織、地方連合会、事務局計22名が参加しました。



「語り部」の齋川一郎さん（中央）は「連合ボランティア団に大変勇気づけられました」と述べてくれました。



植樹には急ぎよ、立谷市長も駆けつけ、当時の連合ボランティア帽子を着帽して一緒に参加してくれました。



南相馬市の谷地地区にある“奇跡の一本松”。津波で被災した沿岸線地域のため道路も整備されていません。

復興支援視察団 in 宮城 日程

11月30日（水）

- ・仙台市岡田地区視察
岡田ポンプ場
仙台市営バス岡田営業所
荒浜小学校（津波被災建物）
- ・わたりグリーンベルトプロジェクトにて植樹、視察
- ・学習交流会

12月1日（木）

- ・新女川駅視察
- ・シーパルピア女川（駅前テナント型商業施設）視察

復興支援視察団 in 福島 日程

11月29日（火）

- ・立谷（たちや）相馬市長からの被災地報告と市長との意見交換
- ・相馬市内被災地視察（ボランティアガイドからの説明あり）
- ・学習交流会

11月30日（水）

- ・相馬市「松川浦環境公園」にて植樹
- ・南相馬市内視察

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行しています。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真を是非お寄せください。皆さまからの投稿お待ちしております！

●連合・連帯活動局

TEL：03-5295-0513/FAX：03-5295-0547

メール：rentai@sv.rengo-net.or.jp